

図書館だより



京都市立高野中学校
図書館

令和5年6月特集号

図書委員会企画！

本でつながろう！私のおすすめ本紹介

図書館だより6月号で紹介されたおすすめ本も含め、入ってすぐの棚に**展示中**です！。

とんとん**借り**に来てください！ね～！貸出中の本は予約もできますよ～！



1-2 K.N.さんのおすすめは

「ここはボツコニアン」 宮部みゆき/著

この本では、ゲームの「ボツ」を集めて出来た「ボツコニアン」という世界の中で、双子の主人公、ピピとピノが冒険を繰り広げます。さまざまな人(人以外も)と出会い、フシギなことを体験するうちに、2人はこの世界の真実を知ることになります。とても面白いので、ぜひ読んでみてください。



1-4 Y.M.さんの

オススメは「満月珈琲店」

望月麻衣/著

イラストがとてもきれいで、夜にしかでないお店が舞台の不思議な物語です。



1-3 S.S.さんのおすすめは

「あるかしら書店」 ヨシタケシンスケ/著

あるかしら書店は、ある町の一角にあります。この店は「本にまつわる本」の専門店。この「あるかしら書店」という本では、この店で売っている本の紹介をしています。「『作家の木』の育て方」や「本の作り方」など、おもしろいタイトルの本が紹介されていてとても面白いです。



1-4 K.U.さんの

オススメは「映画ドラえもん」
小説シリーズ

面白い本なのでおすすめします。



1-3 N.R.さんのオススメは

「野球部あるある」 菊池選手/著

面白い。



1-4 N.K.さんオススメは

「変な絵」 雨穴/著

あるブログに投稿された5枚の絵。一見普通の絵に見えるが、その絵にはある秘密が隠されていた。5枚の絵とその絵に繋がる数々の事件。そのすべての秘密を解き明かした時、恐ろしい真実が明らかとなる。



1-3 S.H.さんのおすすめは

「いじめ」 武内昌美/著 五十嵐かおる/原作イラスト

あるささいなことから、主人公はいじめられてしまう。そんないじめに負けずに立ち向かう少女たちのお話。いろんなシリーズがあるので、是非図書館へ入れて下さい。



1-4 I.R.さんのおすすめ本は



「本当はこわい話」

小林丸々/著

この本は、こわい話がたくさんのっている本です。

1つの話を読んでも、一見意味が分からないと思いますが、そのお話のページの最後に解説が書いてあるので、ぜひ読んでみてください。

1-4 S.E.さんのおすすめは



「屋根裏部屋の秘密」

松谷みよ子/著

祖父たちは、昔犯した国家

反逆罪に問われる犯罪を償おうとはしなかった。そのことを知った孫の世代の3人、「ゆう子」、「直樹」、「エリコ」の視点でその罪を知り、今後どうしていくかを描く物語です。

2-2 Y.Y.さんおすすめ本は



「怪盗レッド」

秋木真/著

アスカとケイ、いとこ同士のコンビが怪盗として悪事を解決していくお話。2人とも中学一年なのに、アスカははずば抜けた身体能力、ケイははずば抜けた頭脳をもっている。性格も正反対だけど、お互いに協力して事件を解決していくことで、徐々に互いの信頼感が上がっていく様子が良いところです。私はアスカとケイのコントっぽいやり取りも面白くて気に入っています。また、登場人物が多く、一度出てきた人が後の巻にまた出てきたりするので長く楽しめる作品です！

2-2 H.K.さんのおすすめ本



「帝都地下迷宮」

中山七里/著

とある鉄道マニアの公務員は自身の欲望のままに違法をものともせず突き進む。周りには共感してもらえない「マニア」を抱えて…。どんどん意味が深まる「マニア」。「マニア」とは何なのか。東京の地下で展開するノンストップミステリー！

2-2 S.S.さんおすすめの本



「優しい死神の飼いかた」

知念実希人/著

死神である主人公は、悩める人々を助け、天国へと導くため、ゴールデンレトリバーとして片田舎に降り立った。身の置き場に困っていたところを終末病院の看護師、菜穂に拾われる。終末病院で主人公は無事に死神としての役目を果たせるのか？

2-3 I.M.さんおすすめの本



「霧島くんは普通じゃない」

麻井 深雪/著

ある日、主人公がヴァンパイアの転校生と出会い、普通じゃない毎日をおくることになります。ある時、主人公の血がヴァンパイアの世界で言われる「特別な血」かもしれないということになり、怖いヴァンパイアに連れ去られそうになってしまうことも。恋愛も少し入っている、恋愛系が好きな人も楽しめると思います。

2-3 E.Y.さんのおすすめは、



「強運の持ち主」

瀬尾まいこ/著

占い師が主人公の本。占いに来るたくさんの色々な人々。そんな色々不思議な人々がなぜ占いに来るのかは最後に分かるのですが、それまでその人たちはよく分からない不思議なことを言います。そこから分かる、その人たちの真実を考えるのがすごく楽しくて、面白いです。ぜひ読んでみてください。

2-3 H.D.さんの

おすすめ本



「5秒後に意外な結末」シリーズ

桃戸ハル/著

この本は、信じられないような展開の話がたくさんあり、何度読んでも面白いです。この本をおすすめする理由はもう一つ。それは、一つ一つの話が短いこと。学校の朝読書の時間は短くて、たくさんは読めないため時間切れになってしまうこともあります。この本なら切りの良い所で止めることができるため、すっきり読書を終えられます。

2-4 K.S.さんのおすすめ



「西由比ヶ浜駅の神様」

村瀬 健/著

鎌倉に春一番が吹いた日、一台の快速電車が脱線し、多くの死傷者が出てしまう。事故から2カ月ほどが経ったころ、嘆き悲しむ人々にとある情報が行き渡る。その情報は誰もが信じたという。(あらずじ) 自分はその中でも、「父へ。」と「お父さんへ。」というお話が感動ものでした。こんな素晴らしい人が亡くなってしまふとは…とどかしい気持ちになりました。命の大切さ、尊さ、それを思う心に打たれました。美しく儚い話でおすすめです！

T.Y.先生のおすすめ本は「春や春」 森谷明子/著



俳句甲子園を目指す高校生の青春物語です。たった十七音で作られる「俳句」という作品の奥深さに、登場人物と一緒に気づくことができる作品です。

一つの題材を元に、様々な俳句が「あーでもない」「こーでもない」と練り上げられていくシーンからは、言葉の持つ力がヒシヒシと伝わってきます。あなたも「春や春」に込められた奥深さを味わってみませんか。